

世田谷区長 保坂展人 様

よりよい区本庁舎の整備について（要請）

平素、区民福祉の増進とその環境整備に向けた区政を進めておられることに心から敬意と感謝を申し上げます。

この間、区本庁舎の整備をめぐるには、2016年12月に「基本構想」が策定されて以降、各市民グループ・団体や区議会各会派からさまざまな意見や要望、考え方が提起されました。2017年度には、「基本構想」をもとに、「基本設計業務委託公募型プロポーザル」が実施され、「区民意見聴取」や「公開プレゼンテーション」等が行われ、設計者が選定され、そして、2018年度には、「リング会議」や「ワークショップ」等を経て「基本設計」が策定されました。

2019年度、引き続き「リング会議」や「説明会」等が行われ、「実施設計のとりまとめ」へとステップが踏まれ、区民参加を含む「熟議」を通して、それぞれの思いのベクトルを重ね合い試行錯誤と積み上げが進められてきたものと理解しています。

しかし、この間の検討の経過と到達点に関して、必ずしも区民の理解と認識の共有化が十分に図られたとはいえないとの声も聞かれたところです。したがって、これまでの経過を事実として的確に評価し、その到達点を生かす方向で関係者の合意形成を図ることが求められました。そこで、「新しいせたがやをすすめる会」（以下「すすめる会」として、「よりよい区庁舎建設を考えるつどい」（以下「つどい」）を1月23日に開催し、「基本構想」～「基本設計」～「実施設計のとりまとめ」とステップを踏んできたこれまでの経過と「変更点」等を検証し、浮かび上がってきた課題とその望ましい解決の方向性と手法を探る場を設けたいと考えました。

「つどい」の場において区側から示された経過報告、また、市民グループ等から提起された問題指摘を検証し、出された意見等を踏まえ、「すすめる会」としては、区民意見等の反映を加味した区の到達点を評価・尊重したうえで、「よりよきものを付加する」視点で対応することが肝要と考えています。

区本庁舎の整備は、単に、区本庁舎の建替え問題にとどまらず、今後の区政運営の基本的方向性に関わる問題でもあると考えます。そこで、「すすめる会」の基本政策でもあり、また、区の「新実施計画：後期」の基本でもある区民の「参加と協働」を通じた「共に生きる」地域のあり方を模索する視点から下記の通り要請するものです。

## 記

1. 近隣の環境に配慮する観点から、議会棟の階数を可能な限り圧縮し、高さを低めるよう図られたい。
2. 区民会館に関わる景観上の「記憶」と「空間特質」を考慮し、「リングテラス」の大きさについてさらなる見直しをされたい。
3. 来庁者と職員の利便性・安全性への配慮のためにも、いっそうのバリアフリーと免震構造上の措置に関わる安全性確保を図られたい。
4. 防災上の配慮からも、仮設庁舎の機能性・安全性確保の措置をとられたい。
5. 解体と建設をくりかえすという「ローリング」中の安全確保には万全の措置をとられたい。
6. 公契約条例を制定・施行している自治体として、区内産業振興や地域経済活性化の観点からも、建設工事やこれに伴う移転業務等に区内の事業者を施工体制に可能な限り組み込む措置をとられたい。
7. このほか、今後とも、区民意見を適時・適切に反映した整備事業を進めることを図られたい。

以上

2020年3月3日

新しいせたがやをすすめる会

共同代表

名谷和子

志村徹磨

岡山祥隆